

第1学年 日本語学級「わけをはなそう」（オンライン授業）

トピックのねらい	わけをはなすことができる。
日本語の目標	モデル文を使ってわけをはなすことができる。
関連	教科・単元 国語科「わけをはなそう」A 算数科「あわせていくつふえるといくつ」B
	くらし・行事 縦割り班活動「好きなものをしょうかいしよう」C
主な学習活動	① 気持ちを表す言葉を使って文づくりの練習をする。 ② 「どうしてか」というと、～～からです。」の言い方を使って発表する。

教材・教具：jamboard

授業展開

時間	学習活動	指導のポイント 支援「○日本語 ◇教科 *バイカルチュラル視点」	関連
1	1 最近の楽しかった出来事を発表する。	○上手に言えない児童には、教師が質問等しながら言葉を引き出すなど支援する。 *友達が言いたいことを聞き取り、言い方を教え合ったりするよう声掛けをする。	A
	いろいろな気持ちの文を作り、そのわけも話そう。		
	2 気持ちを表す言葉を集める。 😊😞マークにあう気持ちの言葉をかんがえる。	◇教科書 P48 の表情を見て気持ちを表す言葉を考える。 うれしい・楽しい・悲しい・さみしい ○いろいろな場面の例を話しながら考えさせる。	A
	3 その気持ちになるのはどんな時か考え、付箋にかく。	*教科書だけではなく、日常の生活の中からも考えさせる。楽しい文章を採用するようにする。 児童が出したことを教師が jamboard に付箋で記入していく。	A
	4 気持ちを表す言葉と行動の言葉をマッチングさせ、わけを表す文を作って発表させる。	○「わたしは～～です。」「なぜかというと～～だからです。」の言い方で文を作って発表させる。 ・jamboard でカードを裏返しておき、ランダムにとらせることでゲーム性を持たせる。	A
5 学習をふりかえる。	○この話し方はいろいろな場面で使う話し方だということ伝える。 (ふりかえりカードに記入するよう指示し、自己評価できるようにする。)	B C	

わたしは _____ です。 どうしてかという _____ からです

jamboard を利用して ゲーム的に

令和3年度 第1学年 日本語学級「わけをはなそう」ふりかえり

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">児童の様子</p>	<p>《日本語学級での様子》</p> <p>○jamboard を使ってゲーム的に行ったことで、楽しんで文づくりをすることができた。</p> <p>▲音読では、既習の音読はスムーズに読める児童が多いが、先行的に行う文章はなかなか読むことは困難だった。日本語学級の時間にも楽しく複数回練習できる工夫が必要だった。</p> <p>《在籍学級での様子》</p> <p>○日本語学級で主体的に活動できていた児童は、在籍学級でも自信をもって積極的に取り組んでいる姿がみられた。</p> <p>○算数で計算が何算になるかを説明する時や、縦割り班活動で自分の好きなものを紹介する時なども理由を言う言い方を使おうとする様子が見られた。</p>	
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学習活動案・日本語支援について</p>	<p>1時間目</p>
<p>課題</p>		<p>△音読については、絶対的な練習回数が不足している児童が多いと感じる。 →保護者への働きかけをすると共に、日本語学級でも楽しく練習回数を増やす工夫をする。</p> <p>△教科書では「どうしてか」というモデル文が使われているが、児童にとっては難しいようだった。 →なかなか正しく言えない児童が多かったため「なぜか」というの形でもよいということにした。</p>